

人権教室教材一覧（小学校用）

小学生 1, 2 年生向け

番号	内容項目	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	備考
1	A-4	個性の伸長	偏見, 差別的取扱い	さっちゃんのまほうのて	45分	冊子掲載
2	C-11	規則の尊重	人権一般	きまりのないくに	45分	冊子掲載
3	B-6	親切, 思いやり	いじめ	ぐらぐらもりのおばけ	45分	冊子掲載
4	B-6	親切, 思いやり	いじめ	ねずみくんのきもち	45分	冊子掲載
5	B-6	親切, 思いやり	いじめ	ずっとともだちでいたいから	45分	冊子掲載
6	B-6	親切, 思いやり	いじめ	世界をしあわせに	45分	
7	B-6	親切, 思いやり	障害のある人	きいちゃん 私、生まれてきてよかった！	45分	
8	B-6	親切, 思いやり	いじめ	やさしいオオカミ	45分	
9	B-6	親切, 思いやり	いじめ	いっちゃん、ごめんね	45分	
10	D-17	生命の尊さ	人権一般	かわいいうさぎ	45分	
11	B-6	親切, 思いやり	障害のある人	ふしぎなともだち	45分	
12	B-6	親切, 思いやり	いじめ	白い魚とサメの子	45分	

番号	1050202006	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	さっちゃんのまほうのて	難易度	初級
時間	4 5分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 (または, 椅子なし型)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の個性を理解し, 互いに尊重する心を育てる ・障害者に対する偏見をもたず, 他者を思いやる心を育てる ・いじめのない学級・学校の実現に努めようとする態度を養う 		
教材の 内容	<p>さっちゃんは, 先天性四肢欠損という障がいを負って生まれ, 右手には指がありません。幼稚園のおままごと遊びでお母さん役を取り合ったとき, 自分の右手についてお友達にひどいことを言われ, 取っ組み合いの喧嘩になってしまいます。みんなと違うことに傷つき, 幼稚園に行けなくなってしまうさっちゃんですが, 無事に立ち直ることはできるのでしょうか。</p> <p>障がいを負った心の葛藤を描き, お母さんやお父さん, 幼稚園の先生やお友達など, 様々な人々との交流をとおして, さっちゃんが力強く歩き始めるまでの心温まるお話です。</p>		
備考	<p>使用教材: 絵本「さっちゃんのまほうのて」, ワークシート 使用物品: SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（障がい・差別等）について 	
展開	10分	絵本読み聞かせ	<p>絵本「さっちゃんのまほうのて」を読み聞かせをする。</p> <p>※「朗読」とはしているが、印刷したものを配付したりするなど、子どもたちに関心を持たれるように見やすくする工夫をする。</p> <p>（または、生徒たちに役割演技をさせ、それぞれの気持ちを考えさせる。）</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちなどを考えさせるために、ワークシートを使用する等で下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっちゃんが「みんな だいきらい！」と心の中で叫んで駆け出したとき、さっちゃんは、どのような気持ちだったでしょう。 ・お母さんがさっちゃんの手を両手で優しく包んで話しをしたとき、お母さんはどのような気持ちだったでしょう。 ・幼稚園を休んでいるときのさっちゃんは、どのような気持ちだったでしょう。 ・（絵本の内容とは離れて）今までに、友達に言われて「嫌だな」と思った言葉や出来事がありましたか？ ・（絵本の内容とは離れて）今までに言われて嬉しかった言葉を発表しましょう。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・自分や他人の個性を理解し、互いに尊重し合うことの大切さ ・人を傷つけるような発言などのいじめをしない、許さない学級づくり ◆ 「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030102110	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	きまりのないくに	難易度	初級
時間	4 5 分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ, きまりが必要なのかを考える機会とする。 ・他者との生活において, きまりを守ることの大切さを認識する。 		
教材の 内容	<p>わがままで, 楽しいことばかりをしていたキリコ。他人をこまらせたり, 友だちのことは無視。きまりなんてどうでもいいと, やりたいことばかりをやっていました。</p> <p>ある日, ネコの案内で「きまりのないくに」に来てしまったキリコ。そこは, 皆が好きなことをできるくに。でも, キリコは好きなことを思う存分やれる反面, ひとりぼっちになってしまい, 寂しくて悲しくてたまりません。</p> <p>友だちの大切さやきまりを守ることの大切さ, 一人がわがママを言うと周りが困ることを知ったキリコ。自分のわがママを反省し, きまりを守り, 友だちを思いやり仲良く暮らした方が今までよりもずっと楽しいことに気づくのでした。</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「きまりのないくに」, ワークシート</p> <p>使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (または, プロジェクター及びスクリーン), SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（きまり）について 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「きまりのないくに」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>グループに分かれ，登場人物の行動などに対する自分の意見や考えを交換し，思考を深めさせる。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜきまりが必要か ・きまりがなかったらどうなるか 	
	5分	内容の振り返り② (記入)	ワークシートを配布し，DVDを観て感じたこと，グループで話し合ったことなどの感想を自由に記入させる。	
	10分	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入したことを発表してもらう 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆本日の内容の総論 ・きまりを守ることは，相手を思いやることにつながる ・きまりを守ることは，自分だけでなく他者の人権を守ることもある ◆「子どもの人権110番」，SOSミニレターの紹介 	

番号	1030202122	対象年齢層 (学年)	小学校 1, 2 年生
カテゴリ 1 (大分類)	子ども	カテゴリ 2 (小分類)	いじめ
タイトル	ぐらぐらもりのおばけ	難易度	初級
時間	4 5 分	対象人数 の目安	学級 4 0 人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	「いじめはいけないこと」をテーマとした簡易な物語を通じて、やさしい心、思いやりの心を学ぶ。		
教材の 内容	<p>どこからか聞こえる誰かの泣き声を探して、まもるくんとあゆみちゃんがぐらぐらもりに行くと、狐のコンタと狸のポンスケにいじめられているモグラのモグちゃんに出会う。モグちゃんはモグラだからという理由でモグラ叩きのいじめを受けている。まもるくんとあゆみちゃんは、コンタとポンスケを少しこわがらせてからいじめをやめさせようと、モグラたちと協力してオバケに扮し、コンタとポンスケをこわがらせる。コンタとポンスケは森で一番のあばれ者である狼のガブリに助けを求め、ガブリがオバケと対峙することでオバケの正体がモグラたちであることを知る。コンタとポンスケは、いつも自分たちがモグラにいじめられているとガブリに訴えるが、ガブリはそのウソを見抜き、コンタとポンスケに「弱い者いじめやウソつきは許さない」と一喝する。皆に仲直りしてもらうため、まもるくんとあゆみちゃんの提案により、森の仲間たちが輪になり、「大事ないのちだよ、いじめることはいけない、いけない」と楽しく歌って踊り、ぐらぐらもりが楽しい歌の森となる。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：S O S ミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマについて (話の概要) 	
展開	15分	紙芝居実演	<p>紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」を実演する (又はスクリーンで上映)。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>紙芝居を見て思ったことや感じたことを振り返り、やさしい心、思いやりの心を学んでもらうため、下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのキャラクターが好きですか？ どういうところが好きですか？ ・モグちゃんがかawaiiそうと思いましたか？ どうしてかawaiiそうだと思いますか？ ・もしも自分がモグちゃんだったら、どのような気持ちになると思いますか？ ・友達がモグちゃんのようにいじめられていたら、どうしますか？ 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 発表内容を踏まえて、なぜいじめがいけないのかの理解を深め、やさしい心、思いやりの心を持つことの大切さを伝える。 ・自分がいじめられたら嫌な気持ちになること、それは友達も同じ ・自分がやさしくされたら嬉しい気持ちになること、それは友達も同じ ・自分と友達の気持ちを考えてあげることが、思いやりの心、やさしい心 ◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介 	

番号	1030202099	対象年齢層 (学年)	小学校 1, 2 年生
----	------------	---------------	-------------

カテゴリ 1 (大分類)	子ども	カテゴリ 2 (小分類)	いじめ
タイトル	ねずみくんのきもち		難易度 初級
	4 5 分	対象人数 の目安	学級 4 0 人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	一人一人が違っていてもみんなが良さを持っていること、相手を思いやる気持ちが何より大切だということ、思いやりの気持ちが相手の気持ちを変えることができるということを認識する。		
教材の 内容	<p>小さくて臆病で失敗ばかりのねずみくん。今日もねこくにいじわるされてめそめそしているねずみくんにふくろうさんが教えてくれたこと。それは、誰もが持っていなければならない一番大切なこと。お互いに「思いやる」ことが大切だと教えてもらったねずみくんは、みんなが助け合って生きていること。体は小さくても心は大きくなれること。一人一人が素晴らしいこと。…に気付いていきます。「僕は僕で良かった！」と喜ぶねずみくんは、もう今までのねずみくんではありませんでした。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「ねずみくんのきもち」 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (または、プロジェクター及びスクリーン) , SOSミニレター, 黒板(ホワイトボード) , 質問カード</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (いじめ) について 	
展開	12分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「ねずみくんのきもち」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等, 担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	25分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちを考えさせるため, 下記のような発問をし, 何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめられているねずみくんはどんな気持ちだったと思いますか。 →ふくろうさんの言葉の意味を考える。 ・ふくろうさんが言ったねこくんが忘れていた「一番大切なもの」は何だと言いましたか。 →ふくろうさんが言った大切なもの4つに気づかせる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 相手のことを大切に思う心, 思いやりが大切なこと ② みんな助け合って生きていること ③ みんな違うからいいんだということ ④ みんな本当は, すばらしいところを持っているということ <p>・ (絵本の内容とは離れて) みなさんは, 友だちに親切にしてもらってうれしかったことはありますか。</p>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 みんなが幸せに生活するためには, ・相手の立場に立って考える思いやりの心が大切であること ・一人一人必ずすばらしいところを持っているということを知ること ・違いを認め合い, お互いを尊重する意識をもつこと ◆ 「子どもの人権110番」, SOSミニレターの紹介 	

番号	1030202018	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	ずっとともだちで いたいから	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の心や体を傷つけることはしてはならないことを理解する ・相手の気持ちになって「思いやりの心」を持つことが必要であることに気づく 		
教材の 内容	<p>三羽のカラスは、スズメと遊ぶ仲間のカラスがうらやましいのですが、それをうまく伝えることができず、スズメを「ちいさい＝弱いもの」として、理由なくからかったり、いじめたりします。スズメは無垢な心でともだち関係を築いているのに、理由のないいじめに悩み傷つきます。しかし、「ずっと、ともだちでいたい」という思いから、フクロウ先生の励ましもあって、自分の気持ちをはっきりと伝えます。</p> <p>また、三羽のカラスは、たとはいじめの認識がなく遊びの延長であったとしても、他者の心や体を傷つけることは「絶対にしてはならないこと」であり、相手の気持ちになって思いやりの心を持つことが必要であることに気づきます。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「ずっとともだちで いたいから」</p> <p>使用物品：SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて</p>	
展開	10分	紙芝居実演① (前半)	紙芝居「ずっともだちでいたいから」前半を実演する。	
	5分	内容の振り返り① (前半)	<p>他者の心や体を傷つけることはいじめであり、いけないことであることを理解させるために、グループに分かれ、登場人物の行動などに対しての自分の気持ちについて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までのお話の中で、悲しい、怖いという気持ちになった場面はありましたか？ また、それはどの場面ですか？ ・軽い気持ちや遊びであれば、友だちにいじわるしてもいいのでしょうか？ 	
	10分	紙芝居実演② (後半)	紙芝居「ずっともだちでいたいから」後半を実演する。	
	10分	内容の振り返り② (後半)	<p>「思いやりの心」を持つことの必要性を気づかせるために、グループに分かれ、登場人物の行動などに対しての自分の気持ちをについて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲直りしたとき、カラスはどんな気持ちだったのでしょうか？ ・なぜカラスたちはカータンの家を一緒に作り直そうとしたのでしょうか？ ・困ったことがあったとき、皆さんだったらどうしますか？ 	
まとめ	5分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 みんなと仲良くするために、お互い思いやりの心を持つことが重要であり、それを行動で表すことの大切さを伝える。 ◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介 	

番号	1030102063	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
----	------------	---------------	-----------

カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	世界をシェアせに		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすればみんなのいのちが守られ幸せに暮らせるかを考える。 ・いじめ、仲間はずれなどをしない、させないための方法を考え身につける。 		
教材の 内容	<p>世の中すべての人が幸せになることを願い、旅をしている人KENまもる君と人KENあゆみちゃん。</p> <p>ある日、野菜村を訪れた二人は、アニマルタウンに届ける新鮮な野菜をマントお化けに襲われ村人が困っていることを知って、手助けをしようと出かけます。マントお化けの正体とは・・・。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「世界をシェアせに」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (または、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ (いじめ) について</p>	
展開	5分	DVD視聴説明	<p>どうすればみんな幸せに楽しく暮らせるかを考えてもらうためにDVDを見ることを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」 ・あらすじ・・・二人は世界を幸せにしようと旅をする。そして野菜村にやってきた2人。どんな事件が待っているのでしょうか。 	
	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「世界をしあわせに」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちを考えてもらうため、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニンジンさんとピーマンさんの心の中は？ 嫌われて悔しい、仲間外れにされて寂しい 嫌だ、悲しい、他の野菜をうらんだ →人の心も同じであることを説明 仲間外れ、いじめ、いじわる、無視 →黙って見ていることもいけない、勇気を出して「いけないよ」と言おう ・森から逃げてきたその理由は？ ・お化けの正体は？ ・ニンジンさんとピーマンさんがお化けになった理由は？ 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 みんなの周りには先生方・家族の方・友達がいま → 苦しいな、困ったなと思う心は相談すると軽くなるよ だから誰かに相談しよう ◆ 「子どもの人権110番」, 「SOSモニター」の紹介 	

番号	1050102065	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	きいちゃん 私、生まれてきてよかった！	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人権感覚を養い、思いやりの心を育む。 ・懸命になって一つのことをやり遂げることの大切さと、夢中になれることを見つける重要性を学ぶ。 		
教材の 内容	<p>養護学校に勤める作者の実体験を基に描かれている。</p> <p>身体が不自由な子どもたちが生活している養護学校に勤める山元先生（作者）は、そこできいちゃんとお会った。きいちゃんは手足を思うように動かすことができず、車椅子で生活をしていた。</p> <p>ある時、きいちゃんのお姉さんの結婚が決まり、自分も結婚式に出るのだと喜んでいたら、きいちゃんのお母さんは、きいちゃんが結婚式に出て嫌な思いをしたら可哀想だから欠席した方が良いのではと悩んでいた。そのことをきいちゃんに伝えると、「私のこと皆に知られたくないんだ。私なんて生まれてこなければよかった。」と深く傷ついてしまう。</p> <p>一人で泣いているきいちゃんに、山元先生は、お姉さんへ手作りのプレゼントをすることを提案する。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「きいちゃん 私、生まれてきてよかった！」</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (または、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（障害）について 	
展開	22分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「きいちゃん 私、生まれてきてよかった！」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	8分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>グループに分かれ、登場人物の行動などに対する自分の意見や考えを交換し、思考を深めさせる。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDを観てどのように感じたか ・DVDを観てどのように考えたか 	
	7分	内容の振り返り② (発表)	各班 1～2名の生徒に発表してもらう。	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 個性を尊重すること、他人を思いやる気持ちの大切さ ・ 一つのことを懸命になってやり遂げることの素晴らしさ ◆ 「子どもの人権 110番」, 「SOSモニター」の紹介 	

番号	1030202101	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	やさしいオオカミ	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・見かけや固定概念等で、好き嫌い、良い悪い等の判断をせず、他者に歩み寄る心を育てる。 ・誰に対してでも、偏見を持たず他者を思いやる、優しく、素直な心を育てる。 		
教材の 内容	<p>秋の森に、兔の兄弟が遊んでいる。そこに友達を作りたい痩せたオオカミ君が兔の兄弟に歩み寄った。兔の兄は、「あいつは、牙のない、意気地無しのおオカミだ」とキバナシと呼びキックやパンチをして、いじめた。オオカミ君は決して抵抗しなかった。弱虫とも思われたオオカミ君は森のキツネ君や鳥たちからも、友達になってもらえなかった。そして、オオカミの仲間達からも除け者にされ孤独だった。ある日、キツネ君はオオカミ君に友達になると騙して人間の罨から助けをもらうが、キツネ君は逃げてしまった。ある夜ひとりぼっちのオオカミ君が泣いていると満月さんが、「やさしい心は弱い者を守り、自分をも守るのだよ。」と話してくれた。そしてある時、兔の妹を狙い鷹がさらってしまう。そこでオオカミ君が気づき、「その子は私の友達だ。離さないと許さないぞ。」と、鋭い牙を見せた。鷹は、恐ろしさのあまり兔の妹を離した。助けられた兔の兄弟は、決して牙無しではなかったと、オオカミ君の最初のお友達になった。いつしか、オオカミ君の本当の強さ優しさに森の仲間達が気づき、オオカミ君は森の人気者となった。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「やさしいオオカミ」 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (または、プロジェクター及びスクリーン) , パワーポイント使用時の機材, 人権ポスター, 黒板(ホワイトボード) , SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1)始まりの挨拶</p> <p>(2)人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3)「人権」について簡単なお話</p> <p>(4)本日のテーマ（いじめ）について</p>	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「やさしいオオカミ」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り (前半)	<p>登場人物の気持ちを考えてもらうため、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兔のお兄さんに、キックやパンチをされて友達にはならないと言われたオオカミ君はどんな気持ちだったでしょう？ ・オオカミ君がキツネ君を人間の震から助けたのに、嘘をつかれて逃げられたときのオオカミ君はどんな気持ちになったでしょう？ ・キツネ君を助けたことを正直に犬君たちに訴えたらわかってくれました。そのときのオオカミ君はどんな気持ちになったでしょう？ 	
		内容の振り返り (後半)	<ul style="list-style-type: none"> ・見かけや固定概念等で、好き嫌い、良い悪い等の判断をせず、他者に歩み寄る心を育てる。 ・誰に対してでも、偏見を持たず他者を思いやる、優しく、素直な心を育てる。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆本日の内容の総論 いじめや偏見で差別することなく、お互いを思いやる心の大切さを伝える。 ◆「子どもの人権 1 1 0 番」, 「SOSモニター」の紹介 	

番号	1030202008	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	いっちゃん, ごめんね	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちをからかったり、いじめたりしてはいけないことを認識する。 ・相手の気持ちを考えることの大切さを理解する。 ・いじめを見かけたら、見て見ぬふりしないようにする。 		
教材の 内容	<p>一年生になったりょうちゃんは、教室で2, 3人の子にいじめられているいっちゃんを見かけた。いっちゃんのことを「ランドセルの色がむらさきなんて、女の子みたい。」とたけちゃんが中心になっていじめていた。りょうちゃんは「やめなよ。」とわって入ったが、いじめはやまず、いっちゃんは泣き出してしまった。</p> <p>いっちゃんはむらさき色がとても好きだった。</p> <p>次の日、りょうちゃんが学校に行くと、今度はたけちゃんが大好きなお兄ちゃんのおさがりのふで箱を「古くさいふで箱」とからかわれていた。</p> <p>たけちゃんは、昨日のいっちゃんも同じ気持ちだったことに気付いた。</p>		
備考	<p>使用教材：(財)人権擁護協力会発行「種をまこう」「いっちゃんごめんね」の写し、「いっちゃんごめんね」絵2枚、カード「いじめをしない。」「させない。」「みのがさない。」、いっちゃん・たけちゃんへのお手紙</p> <p>使用物品：SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について 	
展開	15分	展開	<p>登場人物の気持ちになって、教材を読み、話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 前半を読む <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、いっちゃんをからかっているのかな。 ・どうして、いっちゃんは泣いてしまったのかな。 (2) 後半を読む <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、たけちゃんは涙ぐんだのかな。 ・たけちゃんは何に気付いたのかな。 	
	15分	内容の振り返り	<p>自分の経験や当事者の立場になったときの自分の気持ちを考えてもらうために、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし自分がいじめられたらどうしますか？ ・助けてもらったときの気持ちはどうでしたか？ ・友だちがいじめられているのを見たときどうしますか？ 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 もし、いじめられた時は一人で悩まないで相談することの大切さを伝える。 ◆ いっちゃん、たけちゃんにお手紙を書く ◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」, 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030102029	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	かわいいうさぎ	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	身近にいる生き物のことを考え、いのちの大切さを理解する。		
教材の 内容	<p>うさぎの絵を見て</p> <p>(1) 飼育委員の人たちは何をしているか考えて発表しましょう。</p> <p>(2) 飼育委員の人たちが毎日仕事をしているのはなぜか考えて発表しましょう。</p> <p>(3) もし、自分がうさぎだったら、人にどんなことをしてほしいか考えて発表しましょう。</p> <p>(4) 今までに動物を飼ったり、抱っこしたりした経験を発表しましょう。</p> <p>(5) 動物の絵本を見て、いろいろな動物がいることを知りましょう。</p> <p>(6) 動物にはそれぞれに命があるので、動物を飼う場合は責任をもって世話をしていかなければならないということを考えましょう。</p> <p>(7) 飼っている動物にはやさしく接して大切に育てていきましょう。</p>		
備考	<p>使用教材：「いのち」、「なかよく」、「あいてのきもち」のカード、拡大したうさぎの絵（うさぎの世話をしている絵があればなお良い）、どうぶつの絵本（学級の人数分より多めに）</p> <p>使用物品：SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（身近にいる動物）について</p>	
展開	10分	展開①	<p>小動物は人間の保護が必要な弱い立場であり、えさやりや小屋の掃除が必要なことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育委員の人たちは何をしているのか考え、考えたことを発表する。 ・飼育委員の人たちは毎日仕事をしているが、毎日仕事をするのはなぜか考えて、考えたことを発表する。 	
	10分	展開②	<p>自分をうさぎに置き換えて、えさやりやお世話の必要性を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし、自分がうさぎだったら人にどんなことをしてほしいか考え、考えたことを発表する。 	
	10分	展開③	<p>動物を飼ったり、抱っこしたりした経験を話し合いみんな生きているということを感じてもらうために、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに動物を飼ったり、抱っこしてみ気づいたことや感じたことはなんですか？ ・心臓がドキドキしていたことや体が温かかったことを感じてどう思いましたか？ 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・いろいろな動物がいることを知ってもらう。 ・動物にはそれぞれ命があることを確認する。 ・飼育している動物はしっかり世話して大切に育てていく必要があることを確認する。 ・「いのち」、「なかよく」、「あいてのきもち」のカードを使用して、命の大切さ、相手を思いやる気持ちが必要であることを確認する。 ◆ 「子どもの人権 110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030102019	対象年齢層 (学年)	小学校1・2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人
タイトル	ふしぎなともだち	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・人の心の痛みを知ることができる人になる。 ・いつでも友達でいたいという気持ちを、どうしたらいつまでも友達でいられるかの考えに結びつける。 ・自閉症など障害があっても、心は良くわかる人なんだということに気づいて、みんなで障害のある子をみんなの中へ包み込むように関わる。 ・いじめは人の心を痛くする。いじめる前に人の心が痛むことをわかる。 ・ここで分かり合えるということを実感し、意識化する。 ・友達とのあり方の自覚を促す。 		
教材の 内容	<p>2年生の冬休み、ぼく、おおたゆうすけは島に転校した。どんな友達ができるのか、楽しみにしていた学校で「やっくん」と出会った。みんなとはちよつと違う、自閉症という障害がある「やっくん」。どういうふうにつき合っ、大人になっても友達でいることができるのか子どもたちに考えさせる。</p>		
備考	<p>使用教材：絵本「ふしぎなともだち」（スクリーンで上映する場合は物語データ） 使用物品：SOSミニレター （スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン）</p>		

過程	時間		学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（友達）について 	
展開	12分	絵本読み聞かせ	<p>絵本「ふしぎなともだち」を読み聞かせする（又はスクリーンで上映）。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>絵本を見て思ったことや感じたことを下記のような点で振り返り、障害のある友達との接し方を考えて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はいおしまい」の意味 うちだ先生が声をつまらせたり、お父さん、お母さんが泣いた理由 ・おおたゆうすけ君の変化について ・人のこころを理解するには 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ やっくんとおおたゆうすけ君の友達関係を心に残す。 ・ 心と心でわかり合える力をみんなもっている。 → そんな不思議な力を使って、いつでもパワーアップできる ◆ 「子どもの人権 110番」, 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030202104	対象年齢層 (学年)	小学校1, 2年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	白い魚とサメの子	難易度	初級
時間	4 5分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも必ず良いところがあることを知り、それぞれがもつ自分らしさに気づかせる。 ・他人との違いを認め合い、思いやりの心の大切さを学ぶ。 ・いじめを見て見ぬふりをしたり、一緒になってからかうことも、いじめているのと同じことであることを気付かせる。 ・いじめのない学級づくりの実現に努めようとする態度を養う。 		
教材の 内容	<p>ほかの魚に比べて泳ぐのも遅く、カラフルでもなく、話をするのも苦手な白い魚は、いつもいじめられていました。一方暴れんぼつの子は、白い魚がいじめられていても知らんぷり。</p> <p>「自分なんかいなくなっちゃえばいい…。」白い魚の気持ちを知った白い魚のお母さんはとても悲しみます。</p> <p>みんなと仲良くなりたくて、自分を変えようと必死に頑張る白い魚。それでもあいかわらずひとりぼっちのまま。そんなとき、白い魚はリュウから、ありのままの自分を好きになってくれるのが本当の仲間であることを教わります。</p> <p>ある日、海は嵐に襲われ魚たちは大慌て。白い魚は勇気を出してみんなを助け、「やさしさ」や「他人を思いやれる心」が自分らしさであることを知ります。</p> <p>嵐が過ぎて、助けられた魚たちは、いじめていたことを白い魚に謝ります。サメの子も知らんぷりしていたことを謝るのです。</p> <p>いろんな魚がなかよくいっしょに泳ぐ海は、前よりずっと美しくなりました。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「白い魚とサメの子」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：プロジェクター及びスクリーン、黒板(ホワイトボード)、ワークシート、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について 	
展開	15分	紙芝居鑑賞	<p>紙芝居「白い魚とサメの子」を実演する。 (又はスクリーンで上映)</p> <p>※見にくい生徒がないか確認する。 スクリーンを使用する場合は、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>物語の注目する場面や理解を深めるため、グループに分かれて、登場人物の行動などについて自分の気持ちを話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりぼっちの白い魚はどんな気持ちだったでしょうか？ ・白い魚は、はじめ、どうすれば友だちができると思っていましたか？ 	
	18分	内容の振り返り② (発表)	<p>自分らしさに注目し、他人との違いを認め合い、思いやりの心の大切さを考えてもらうために、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさ（これだけは負けない。）というものを一つあげるとしたらなんですか？ ・みんなを助けた時、白い魚の体は傷だらけでした。でも心は疲れていませんでした。どうしてだと思いますか？ ・海が前よりも美しくなったのはどうしてだと思いますか？ 	
まとめ	2分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ みんながそれぞれの個性を持っていて、他者の個性を尊重して認め合って生活することの大切さ ◆ 「子どもの人権 110番」, 「SOSミニレター」の紹介 	